

公益社団法人京都府介護支援専門員会  
教育・研究委員会

令和2年12月18日開催の企画研修『ACPにおけるケアマネジャーの役割～人生の最終段階を見据えての備え～』で行いましたWEBアンケートにてご質問をいただきましたので回答いたします。

\*質問部分については抜粋して掲載しております。

Q1.

ACPを実際に行う際の書式について甲田先生の事業所では、どのようにされていますか。様々な図書でACPは紹介されています。しかし、書式については定まったものがないように思われます。ケアマネジャーがACPに取り組む際の一つの障害となっているのではないかと推察しています。

A1.（講師回答）

講義でも今後の課題であるとお話をしていましたが、しいて言うなら、ACPシートとして1枚用紙を用意し、時系列で、利用者が発せられた言葉をそのまま記録しておくと、利用者の思いの変化、今感じておられる思いが見て取れるし、チームとして情報提供しやすいシートになるのではないかと考えます。

Q2.

アドバンスケアプランニングを意識した実践することで、今までのターミナルケアへのかかわり方が、ケアマネとしてどのように変化するか、実践事例を知りたい。

A2.（講師回答）

当病院の部分は対象者の承諾が必要になるので、一つ参考図書として紹介をさせて頂きます。  
⇒中央法規出版：「ACP(アドバンス・ケア・プランニング) 実践ガイド：患者・利用者の生き方・暮らしに焦点をあてた意思決定支援に向けて」著：池永昌之・濱吉美穂 定価2600円（税別）疾患別、場面別で、面接技術的に参考になると思います。